

2021年2月10日

上場会社名 アネスト岩田株式会社  
 コード番号 6381 URL <http://www.anest-iwata.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 壺田 貴弘  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 経営企画部長 (氏名) 鷹野 巧一  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 045-591-9344

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	25,512	9.5	2,471	13.2	3,010	4.0	1,941	3.2
2020年3月期第3四半期	28,201	1.7	2,845	17.1	3,135	17.2	2,005	17.6

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 1,971百万円 (23.3%) 2020年3月期第3四半期 1,598百万円 (16.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	46.75	
2020年3月期第3四半期	48.05	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	47,493	35,099	66.2
2020年3月期	48,102	34,570	64.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 31,432百万円 2020年3月期 31,092百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		12.00		12.00	24.00
2021年3月期		12.00			
2021年3月期(予想)				12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,500	11.7	3,000	22.6	3,600	18.2	2,100	22.7	50.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 社 (社名) 、 除外 2 社 (社名) アネスト岩田コンプレッサ株式会社、アネスト岩田コーティングソリューションズ株式会社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	41,745,505 株	2020年3月期	41,745,505 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	485,382 株	2020年3月期	186,703 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	41,517,300 株	2020年3月期3Q	41,738,814 株

当社は、2020年3月期より株式報酬制度「株式給付信託(BBT)」を導入しており、当該信託が保有する当社株式(前連結会計年度:期末自己株式数180,000株、期中平均株式数18,277株、当第3四半期連結累計期間:期末自己株式数180,000株、期中平均株式数180,000株)を期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式に含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「(2)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(追加情報)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

## ①概要及び経営成績

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受けましたが、中国は急速に回復するなど国や地域によりスピードは異なるものの緩やかな回復基調へ転じました。しかしながら、依然として続く新型コロナウイルス感染症拡大の懸念から先行き不透明な状況が続いています。日本経済では、自動車を中心とした生産や輸出の持ち直しにより、景況感は改善傾向となりましたが、感染再拡大を背景として回復には力強さを欠いております。

当社グループは、引き続き従業員とその家族並びに全てのステークホルダーの方々の安全、安心、健康を最優先とし、感染防止対策を徹底するとともに、社長執行役員を委員長とする危機管理委員会を週次で開催して迅速な課題解決を図るなど、一連の事態への対応を続けております。

このような状況の中、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高25,512百万円（前年同四半期連結累計期間対比9.5%減）、営業利益2,471百万円（同13.2%減）、経常利益3,010百万円（同4.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,941百万円（同3.2%減）となりました。

（ご参考値）事業部別の状況

（単位：百万円）

事業部 (製品区分)	当第3四半期連結累計期間 2020年4月1日～2020年12月31日	
	連結売上高 (前年比)	連結営業利益 (前年比)
エアエナジー事業部	14,981 (△9.4%)	1,324 (2.4%)
圧縮機	13,925 (△9.7%)	
真空機器	1,056 (△5.7%)	
コーティング事業部	10,530 (△9.7%)	1,147 (△26.1%)
塗装機器	8,104 (△13.6%)	
塗装設備	2,426 (6.1%)	
合計	25,512 (△9.5%)	2,471 (△13.2%)

（注）事業部別の連結営業利益は、当社グループ独自の基準により算定しております。

## ②セグメントの業績

当社グループで採用しております地域別セグメントの状況は以下のとおりです。なお、セグメントの業績に関する詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記- (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」の（セグメント情報等）をご参照ください。

## 日本

売上高は15,299百万円（前年同四半期連結累計期間対比8.2%減）、セグメント利益は1,898百万円（同21.3%減）となりました。

圧縮機製品では、製造業における生産活動の持ち直しに伴い、オイルフリースクロール圧縮機を中心とした汎用製品の売上が伸長しました。第2四半期連結会計期間に販売を開始した給油式タンクマウントスクリュー圧縮機“LRST”のプロモーション活動を実施し、早期の市場浸透を目指しております。

真空機器製品では、半導体製造関連装置向けの受注が堅調に推移いたしました。

塗装機器製品では、第2四半期連結会計期間に続いて環境装置の受注が伸び悩みましたが、スプレーガンなどの汎用機器の販売は回復しています。

塗装設備製品では、第2四半期連結会計期間までの受注残が寄与し、増収となりました。さらなる売上拡大を目指し、新規案件の獲得に引き続き努めてまいります。

#### ヨーロッパ

売上高は3,172百万円（前年同四半期連結累計期間対比7.3%減）、セグメント利益は251百万円（同7.6%増）となりました。

圧縮機製品では、搾乳用途やガス充填用途における需要の開拓によって、オイルフリー圧縮機の売上が伸びました。

真空機器製品では、第2四半期連結累計期間にわたり新型コロナウイルス感染症の影響で経済活動が制限されたことに加え、その後もロシア向け真空ポンプの受注が減少したこと、自動車製造関連装置向けの設備投資が先送りされていることなどから売上が減少しました。

塗装機器製品では、工業塗装市場は依然として厳しい状況が続いていますが、自動車補修市場における繰越需要の顕在化や巣籠もり需要によりエアブラシの販売が拡大するなど売上は回復傾向にあります。

#### アジア

売上高は8,989百万円（前年同四半期連結累計期間対比11.9%減）、セグメント利益は724百万円（同16.5%減）となりました。

圧縮機製品では、中国においては大型給油式スクルー圧縮機や車両搭載向け圧縮機に対する需要の増加により国内販売が拡大したことに加え、現地子会社の上海斯可絡圧縮機有限公司による輸出においても好調に推移したことから、売上が伸びました。インドにおいては、第2四半期連結会計期間に続き、医療向けオイルフリー圧縮機の売上が伸びました。一方で東南アジアにおいては、新型コロナウイルス感染症の影響により営業活動が停滞したことから販売の回復は遅れています。

真空機器製品では、半導体に対する需要の拡大により、半導体製造関連装置向け真空ポンプの売上が伸びました。

塗装機器製品では、東南アジアの一部地域の販売は停滞しており、中国をはじめインドやベトナムにおいては回復基調にあるものの売上は伸び悩んでおります。また、商品ラインアップを拡大し、お客さまの多様なニーズにお応えするため、中級レンジスプレーガンである“KATANA”シリーズを上市しており、Eコマースによる販売に注力してまいります。

塗装設備製品では、第2四半期連結会計期間に続き、新型コロナウイルス感染症の影響により営業活動が制限されたため、受注が減少しました。

#### その他

売上高は3,688百万円（前年同四半期連結累計期間対比3.7%増）、セグメント利益は340百万円（同116.5%増）となりました。利益額の増加は、主にアメリカにおける真空ポンプやエアブラシの販売が伸びたことや前連結会計年度にオーストラリア現地子会社について「のれん」の減損処理を実施したことにより償却負担が縮小したことなどによるものです。

圧縮機製品では、アメリカ及びブラジルにおいて、一般産業向け圧縮機販売の回復は遅れていますが、医療向けや車両搭載向けといった好調な市場への販売に注力した結果、オイルフリースクロール圧縮機の売上が伸びました。

真空機器製品では、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた設備投資の落ち込みなどにより研究施設向け真空ポンプの販売は縮小しましたが、かねてより進めてきた装置メーカーの開拓が奏功し、売上が伸びました。

塗装機器製品は、アメリカにおいて自動車補修及び工業塗装向けスプレーガンの販売が緩やかに回復傾向に転じているほか、エアブラシについては巣籠もり需要により売上が大幅に拡大しました。また、メキシコにおいても、アジアと同様に中級レンジスプレーガンである“KATANA”シリーズの販売を開始しました。

### ③財政状態の分析

資産は、流動資産が27,215百万円（前連結会計年度比1.7%増）となりました。これは主に、「現金及び預金」が256百万円増加したことや「原材料及び貯蔵品」が367百万円増加したことなどによるものです。固定資産は20,278百万円（同5.0%減）となりました。これは主に、「建物および構築物（純額）」が253百万円減少したことや「のれん」が155百万円減少したことなどによるものです。その結果、総資産は47,493百万円（同1.3%減）となりました。

負債は、流動負債が8,423百万円（同11.3%減）となりました。これは主に、「短期借入金」が115百万円減少したことや「賞与引当金」が262百万円減少したことなどによるものです。固定負債は、3,970百万円（同1.6%減）となりました。これは主に、「その他」に含まれるリース債務が67百万円減少したことなどによるものです。その結果、負債合計は12,394百万円（同8.4%減）となりました。

純資産は、35,099百万円（同1.5%増）となりました。また、純資産より非支配株主持分を除いた自己資本は31,432百万円となり自己資本比率は前連結会計年度末の64.6%から1.6ポイント増加し66.2%となりました。

### (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期通期連結累計期間業績予想につきましては、2020年11月10日に公表した予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（2021年2月10日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、現時点における配当予想は、2020年11月10日に公表しました予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,850,291	11,106,746
受取手形及び売掛金	7,722,900	6,234,990
有価証券	—	299,989
商品及び製品	3,899,513	4,475,773
仕掛品	1,133,701	1,176,799
原材料及び貯蔵品	2,273,238	2,640,791
その他	1,148,741	1,504,050
貸倒引当金	△265,279	△223,407
流動資産合計	26,763,107	27,215,733
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,358,783	5,105,010
その他（純額）	6,468,342	6,192,328
有形固定資産合計	11,827,126	11,297,339
無形固定資産		
のれん	1,269,023	1,113,804
その他	1,588,485	1,656,443
無形固定資産合計	2,857,508	2,770,248
投資その他の資産		
投資有価証券	4,510,713	4,291,054
その他	2,154,314	1,930,310
貸倒引当金	△10,725	△10,725
投資その他の資産合計	6,654,301	6,210,638
固定資産合計	21,338,937	20,278,226
資産合計	48,102,044	47,493,959

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,251,944	4,102,366
短期借入金	909,930	794,442
未払法人税等	443,970	379,248
賞与引当金	667,484	405,315
その他の引当金	345,484	259,987
その他	2,878,592	2,481,851
流動負債合計	9,497,408	8,423,211
固定負債		
退職給付に係る負債	2,169,606	2,159,469
役員株式給付引当金	39,785	78,396
その他	1,824,773	1,732,971
固定負債合計	4,034,165	3,970,837
負債合計	13,531,573	12,394,048
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,354,353	3,354,353
資本剰余金	1,117,838	1,017,080
利益剰余金	27,136,665	28,076,002
自己株式	△185,165	△483,771
株主資本合計	31,423,692	31,963,665
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	217,457	295,946
為替換算調整勘定	△332,219	△700,637
退職給付に係る調整累計額	△216,271	△126,202
その他の包括利益累計額合計	△331,032	△530,892
非支配株主持分	3,477,811	3,667,138
純資産合計	34,570,471	35,099,911
負債純資産合計	48,102,044	47,493,959



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	28,201,885	25,512,177
売上原価	16,006,818	14,807,774
売上総利益	12,195,066	10,704,403
販売費及び一般管理費	9,349,361	8,232,926
営業利益	2,845,705	2,471,476
営業外収益		
受取利息及び配当金	121,600	107,095
持分法による投資利益	244,346	238,713
雇用調整助成金	—	146,968
その他	110,874	171,873
営業外収益合計	476,821	664,650
営業外費用		
支払利息	61,273	48,712
為替差損	114,749	21,648
過年度関税等	—	30,750
その他	10,866	24,501
営業外費用合計	186,889	125,613
経常利益	3,135,637	3,010,513
特別利益		
固定資産売却益	4,303	4,800
雇用調整助成金	—	76,876
関係会社株式売却益	53,761	—
特別利益合計	58,064	81,676
特別損失		
固定資産除売却損	1,975	2,748
新型コロナウイルス感染症による損失	—	99,621
解体撤去費用	370	—
子会社整理損	24,975	—
市場対策費用	52,532	—
特別損失合計	79,853	102,370
税金等調整前四半期純利益	3,113,848	2,989,820
法人税、住民税及び事業税	808,807	741,770
法人税等調整額	67,689	25,791
法人税等合計	876,496	767,562
四半期純利益	2,237,352	2,222,258
非支配株主に帰属する四半期純利益	231,736	281,190
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,005,616	1,941,067

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	2,237,352	2,222,258
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	69,647	78,488
為替換算調整勘定	△726,456	△361,304
退職給付に係る調整額	60,832	90,069
持分法適用会社に対する持分相当額	△42,823	△58,002
その他の包括利益合計	△638,799	△250,749
四半期包括利益	1,598,552	1,971,508
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,583,928	1,741,207
非支配株主に係る四半期包括利益	14,624	230,300

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

[自己株式の取得]

当社は、2020年11月10日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき自己株式を取得することを決議し、これにより、当第3四半期連結累計期間において、自己株式298,600株の取得を行っております。この結果、自己株式が298,523千円増加しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	日本	ヨーロッパ	アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,733,216	3,275,681	8,790,583	24,799,481	3,402,404	28,201,885
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,941,084	146,428	1,417,715	5,505,229	154,477	5,659,706
計	16,674,301	3,422,110	10,208,298	30,304,710	3,556,881	33,861,591
セグメント利益	2,412,456	233,877	868,128	3,514,462	157,220	3,671,682

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アメリカ、メキシコ、ブラジル、オーストラリア、ロシア、南アフリカ及びアラブ首長国連邦の現地法人の事業活動です。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	3,514,462
「その他」の区分の利益	157,220
セグメント間取引消去	40,187
全社費用(注)	△866,164
四半期連結損益計算書の営業利益	2,845,705

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費です。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	日本	ヨーロッパ	アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,525,448	3,011,131	7,499,940	22,036,521	3,475,656	25,512,177
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,773,802	161,367	1,489,647	5,424,818	213,135	5,637,953
計	15,299,251	3,172,499	8,989,588	27,461,339	3,688,791	31,150,131
セグメント利益	1,898,078	251,576	724,534	2,874,189	340,392	3,214,581

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アメリカ、メキシコ、ブラジル、オーストラリア、ロシア、及び南アフリカの現地法人の事業活動です。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,874,189
「その他」の区分の利益	340,392
セグメント間取引消去	△117,887
全社費用(注)	△625,217
四半期連結損益計算書の営業利益	2,471,476

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費です。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

(追加情報)

(取締役及び執行役員に対する業績連動型株式報酬制度)

当社は、2019年6月25日開催の第73期定時株主総会決議に基づき、当社の取締役（監査等委員である取締役、及びそれ以外の取締役のうち社外取締役であるものを除く。）及び取締役を兼務しない執行役員（以下、「取締役等」という。）を対象に、中長期的な業績の向上と企業価値の増大、株主重視の経営意識を高めることを目的として、業績連動型株式報酬制度「株式給付信託（BBT）」（以下、「本制度」という。）の導入をしております。

(1) 取引の概要

本制度は、当社が設定する信託（以下、本制度に基づき設定される信託を「本信託」という。）が、当社より拋出する金銭を原資として当社株式を取得し、本信託を通じて取締役等に対して、当社が定める役員株式給付規程に従って、当社株式及び当社株式を時価で換算した金額相当の金銭（以下、「当社株式等」という。）が給付される業績連動型株式報酬制度です。なお、取締役等が当社株式等の給付を受ける時期は、原則として取締役等の退任時となります。

(2) 信託に残存する当社株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価格（付随費用の金額を除く。）により、純資産の部に自己株式として計上しております。前連結会計年度末における自己株式の帳簿価格は179,733千円、株式数は180千株であり、当第3四半期連結会計期間末における自己株式の帳簿価格は179,733千円、株式数は180千株です。

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

当社グループでは、固定資産の減損会計や繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りについて、四半期連結財務諸表作成時において入手可能な情報に基づき実施しております。当会計上の見積りについては、前事業年度から重要な変更はありません。

新型コロナウイルス感染症による当社グループへの影響は、事業や国によってその影響や程度が異なり不確定要素が多いことから、その状況等により今後の当社グループの財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。